

透明可視化にこだわった磨き技術

通常の手磨きに加え、エアラップというラッピング装置を併用し、磨きにこだわっています。エアラップは微細な粒子を素材に当てることで、表面を研磨します。これにより、手では届かな部分でも透明度を出すことができます。素材については、アクリルなどの一般的な素材から、ポリアーテルイミド(PEI)など耐熱性の高いものも手がけています。

可視化モデルサンプル

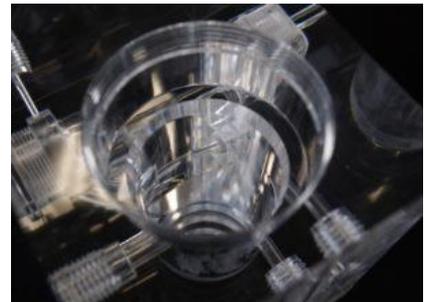


機能部品ホルダー

最大径:182φ 高さ:101mm

製品紹介

可視化実験用部品エアラップを使い、手では届かない範囲の磨きもきれいにできています。手が届くところは手仕上げを施しています



可視化実験用フランジ

初めにエアラップをかけ、手で仕上げています。透過度には自信があります。

可視化用アクリルフランジ

